

東京邑南町 ふるさと会通信

発行日 令和元年9月15日
 号数 第3号
 発行人 東京邑南町ふるさと会
 事務局 千葉市緑区高津戸町309・44

第六回総会が

開催される

平成30年11月17日第五回東京邑南町ふるさと会総会が、東京大手町サンケイプラザで開催されました。

岡部健副会長（井原出身）の開会の辞に続き、少年時代は口羽でテニスに熱中されていたという半谷豊新会長のご挨拶。

邑南町から遠路お越し頂いた日高始邑南町商工観光課長、亀山和巳邑南町議会議員により故郷の近況をお話しいただきました。当日は町内、矢上高校の記念事業に町長はじめ出席されたとの事。続いて吉山治島根県東京事務所長よりご祝辞を頂きました。事業報告・会計報告が無事承認され。

二部は懇親会。岡部副会長の司会で、参加者から近況や、健康のお話があり和やかな雰囲気、邑南弁で語り合いました。毎回恒例の、日本橋しまね館の到店頂き、赤天やわかめやめのは、玉桜や池月、普段なかなか手に入らない県内の農産物をお土産に買われていました。



東京邑南町ふるさと会

会長 半谷豊 (口羽出身)

暑い夏も終わり、何とか一年
生き延びたと思うこの頃です。
私の住んでいる所は、大田区の
池上本門寺の近くです。本門寺
を中心に二十くらいの寺が有り
ます。

お坊さんの数も多く飲食店
等、どこに行ってもお坊さんに会
います。十月十一日、十二日十
三日がお祭り、特に十一日は、
全国から五十万人くらいの人が
集まり賑やかです。ぜひ一度お
いで下さい。

先月島根県人会の予備会に
行つて来ました。どこの市町村も
集まりが悪いとの事。その中で
大田市だけ人の集まりが良く、
年々増えているとの事でした。毎
年、地元の子供さん達のダンス
等と呼ぶという事です。そうす
ると在京の親戚の人達が集まる、
と言うことです。

又、今年も十一月九日に邑
南町ふるさと会が開催されます。
人集めの名案があればお教えく
ださい。
ご出席よろしくお願いま
す。

JXTGホールディングス

名誉顧問 渡文明

私は昭和11年に東京・赤坂で
生まれましたが、小学校入学と
同時に母の実家がある阿須那に
疎開しました。母は「池月酒造」
の娘で、現在は私のいとこが社長
をしています。ちなみに父も大
田市出身なので、両親はともに
生粋の島根県人、従つて、私のD
NAは100%島根県です。

私の育つた阿須那は、中国山
地に囲まれた今も昔も豊かな自
然に恵まれた山紫水明の地です。
家の前を流れる出羽川という江
の川の支流の川で、ハヤやうなぎ
を取つたり、蛭を追つたり、時に
は溺れかけて死にそうなおも
しました。また、木の実やきのこ
を採りに山に入つたり、軍に供
出する松ヤニ採取に大人の後に
ついて行つたりしたこともいい思
い出です。

少年時代の5年間をこうして
阿須那で過ごしたことが、私の
人格形成に大きく影響しました。
いたずら盛りの時期に自然の中
で真っ黒になつて駆け回り、生き
物と触れ合つて命の大切さを学
んだり、冒険をして危ない目に
遭つたりしたことも得難い経験

であり、それらが情操教育にな
つたと思っています。

今の都会で暮らす子供たちは、
自然に触れる機会が限られてい
るため、少々気の毒に思うこと
があります。確かに都会の方が
モノや娯楽があふれて楽しいか
もしれませんが、それは人間が
作つた世界であり、所詮人間に
都合のいいようにしかできてい
ません。自然は、こちらの働きかけ
方次第で様々な顔を見せるので、
感受性や表現力を豊かにしてく
れます。子供を持つ親たちも、
田舎から都会に出てきた世代か
ら2代目3代目となり、地方と
のつながりも希薄になりつつある
昨今ではありますが、やはり子
供が田舎暮らしで得るものは今
でも大きいのではないでしょう
か。「地方創生」のねらいの1つでも
あると私は思います。

現在、邑南町は「日本一の子
育て村構想」を掲げて定住者受
入に力を入れており、その成果
は全国から注目を集めるほどに
なっています。私自身、お世話に
なつた「邑南の豊かな自然」に感
謝しつつ、故郷の取り組みがより
大きな実を結ぶことを願つて
やみません。

「東京邑南町ふるさと会
通信」に寄せて

邑南町長 石橋良治

皆様におかれましてはますます
すこ清祥のこととお喜び申し上
げます。

ふるさと島根では、49歳の丸
山達也新事による県政がスタ
ートし、新しい時代の到来を実
感するとともに、皆様の多くが、
ふるさとを後にされた昭和がま
た一歩遠くなる寂しさも感じる
この頃です。

平成24年11月に「東京邑
南町ふるさと会」が設立され6
年が経過いたしました。旧「石見
会」「はすみ会」の合併に加え旧
瑞穂町出身者を含む新たな会
員を加える形で、邑南町出身者
の会としてスタートさせる大事
業にご尽力賜りました、中村相
談役、半谷会長、太田・三宅両
事務局をはじめ、旧町村それぞ
れから参加頂いた会員の皆様
には改めて感謝申し上げます。

さて、邑南町におきましては、
「日本一の子育て村」や「A級グ
ルメ」等、総合的な定住対策を
展開し一定の成果を得てまいり
ました。邑南町への転入者の数が
転出者の数を上回るいわゆる社
会増の状態が3年間続き、急激

な人口減少にはブレーキをかけることが出来ました。しかしながら、ここに来て様々な要因で再び社会減の状態になっています。

一方国では「関係人口」という新しい考え方が注目されつつあります。これは、地域の活性化等を評価する際、社会増などの「定住人口」の推移のみに着目するのではなく、セカンドハウスの田舎の実家に通ったり、邑南町に関心をもち地域活動やイベントを支援する町外者を「関係人口」として捉え、その増化や関与の深化を評価しようとするものです。

私たちは、この「関係人口」の中核として、全国に広がる出身者の皆様とそのネットワークの郷土会に期待するもの大であります。新時代「令和」が都市と田舎が共存できる社会となるよう「ふるさと邑南」も頑張ります。皆様方には今年合併15周年を迎える邑南町が元気な地域で有り続けられるよう、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。会報発刊に寄せてのご挨拶とさせていただきます。

ふるさとに咲く

花は今も心に

桑野牧子

ふるさとを後にして五十数年、いつも心に咲くお花がございませぬ。そのお花の名前は、あの美しいふるさとの裾野に咲く白いたんぽぽのお花でございませぬ。その姿はとても清楚で美しく、ふるさとを後にして一度として忘れたことはございませぬ。

今まで頑張つて参りました長い年月いろいろなことがございませぬ。楽しかったこと、また反面辛い日々もございましたが、そんな時いつも元気をくれ、励ましてくれたのが、生まれ育った懐かしいふるさとであり、またその裾野に咲く優しい白いたんぽぽのお花でもございました。

これからの老後の過酷な年月もきつと今までの様に優しく、また時には力強く声援を送つてくれるものと思ひます。

これまでの長い年月を見守つて頂いたことに心より感謝し、これからもふるさとの裾野より頑張れ！の声援を送つて頂きたいと思ひます。

またその絆をより強く導いて頂いた、東京邑南町ふるさと会の方々のこれまでのご努力にも

心より感謝いたします。長きに渡り温かいお心遣いを頂きありがとうございます。ありがとうございました。

何が起きるか分からない昨今ではございませぬが、これからはいろいろな事に気を付けてお元気で活躍下さいます様心より願つて居ます。

私もこれからふるさとの裾野に咲く白いたんぽぽのお花の様に優しくまた時には力強く残りの人生を頑張つて参りたいと思ひます。

そしてあの忘れ難いふるさとの山や清らかな川の流れにも、白いたんぽぽのお花同様に想いを馳せて参ります。

最後に昨年三月をもつて八十八年の歴史に幕を閉じましたJR三江線の廃止は今でもとても残念に思つて居ります。帰郷の折には、三次から口羽間を良く利用し致しましたが時折懐かしくインターネットにて拝見して居ります。車窓から眺めた美しい風景、沿線に咲いていた沢山の草花、

そして今もふるさとを守つて下さっている方々にも心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

古里のお宝探訪③

志都の岩屋

今回は、八月四日から千葉県から車で邑南町に帰省しました折に訪れました、神の宿る巨大石、県天然記念物「志都の岩屋」をご紹介します。

邑南町「道の駅瑞穂」から県道6号線を東方に向かい、あとは案内看板に沿つて進むと「志都の岩屋神社」に到着します。

登つていくと神秘的な雰囲気漂う森が広がっています。森の中には「くぐり岩」と呼ばれる不思議な巨石などがみられます。参道を登り切ると拝殿の後ろに堂々と構えているのが「志都の岩屋」です。

「志都の岩屋」は、鏡岩と称するとつともなく巨大な一枚岩です。縄文時代から信仰の対象となり崇拜されてきました。いにしへの万葉集にも「大汝、少彦名の、いましけむ、志都乃岩室は幾代経ぬらむ」という国土を造営したとされる神がいた岩窟を詠んだ歌があります。平安時代には仏教の興隆につれて山岳信



仰と仏教との結合が進められ、
修験者の霊場となりました。
太古の昔より変わらぬ姿で現
存するこの荘厳な巨大石。

これを前にして目を閉じると、
その時代、時代に多くの人達が
この地を訪れ、信仰を繰り返し
てきた様子を想像してしまいま
す。

巨大石の脇からは清らかな水
が湧き出ています。
この水は県の名水百選にも数
えられている「志都岩屋の薬清」
と呼ばれる清水です。

これは、志都岩屋神社の裏山
にある鏡岩の岩間よりでる湧水
で、古くから無病長寿、万病に
効く神霊水と言われています。

志都の岩屋



志都の岩屋

(名勝・天然記念物)

(昭和五四年八月二四日県指定)

祭神 大己貴命 少彦名命
合祭神 応神天皇 神功皇后・王依姫命

当社の養神は縄文文化の時代から巨石崇拜にあり、鏡石を仰いで果てる巨岩の間には小祠を建てて敬慕に始まり、朴な信仰であった。いつの頃からか岩屋の来住が殆ど、ここを拠点として国土経営を始め大己貴・少彦名二神に確定されるようになった。志都神社は「八面神」と関連し、農耕神と、ツラツラ神とが融合した古代信仰の場でもあった。万葉集、三の巻、生石の村人歌の歌
大友少彦名のみまじけむ 志都の岩屋は幾代経成る志と
と読まれている。平安時代に仏教の興隆につれて我が国固有の山岳信仰と仏教との結合が深められ、修験者の霊場となった。弥山・ひじり屋敷・古志都・奥の院・行場岩・廻り岩・花岩など巨岩にはそれぞれ修行の内外をあらわす名称や修行の居所などがつけられている。江戸時代には国学者本宮宮長も玉味宮に、石見国なる所の岩屋十の記事がある。出羽代官六野屋右衛門は元禄十三年に「寛文の頃鉄六溝から五溝の立石を見られ、その由井記録板」を残し、神徳を讃えそのの興隆を祈念している。こうした歴史的背景には弥山(標高六〇七m)の南東斜面一帯に分布する粗大な節理面を持つ黒雲母花崗岩が屹立・果積する巨大な岩域群と岩塊流・行場岩と石割松など地形学・地質学・植物学上極めて貴重な自然景観が存在する。

昭和五十五年四月



瑞穂町教育委員会
瑞穂町文化財保護協会



県の天然記念物及び名勝に指定されています。さらに、背後には弥山があり地元の方の熱心な活動により十分ほどで頂上まで気軽に散策できる山道が整備されています。島根県の「みんなのでつくる自然観察路」にも選定されているコース。登り始めると左右には巨岩や奇岩が迫ってきます。その迫力は登山者を威圧させるほどです。神秘的な巨岩や奇岩が数多くあり、神殿の後ろには、御神体と言われる「鏡岩」があり、岩の表面の穴には紙漉りを結ぶと願いが叶うといわれています。近くで見ると、巨岩は大迫力。この巨岩の前ではどんなドラマが繰り広げられたのか。静寂の中に厳かな雰囲気でした。

看板から由緒を引用
当社の発祥は縄文文化の時代から巨石崇拜にあり、鏡岩を仰いで累々たる巨岩の間に小祠を建て厳威に対する素朴な信仰であった。いつの頃か出雲族の来住が始まり、ここを拠点として国土経営を始め大己貴・小彦名二神に確定されるようになった。志都神社は「八面神」と関連し農耕神とタタラ神とが融合した古代信仰の場でもあった。万葉集、三の巻 生石の村人真人の歌 大汝小彦名のいましけむ 志都の岩屋は幾代経ぬらむと読まれている。平安時代に仏教の興隆につれて我が国特有の山岳信仰と仏教との融合が進められ、修験者の修行の場となった。弥山、ひじり屋敷・古志都・奥の院・行場岩・廻・岩・飛岩など巨岩にはそれぞれ修行の内容をあらわす名称や修行の居所がつけられている。江戸時代には国学者本居宣長も玉勝間に「石見国なるしづの岩屋」の記事がある。出羽代官広野国衛門は元禄十三年に「寛文の頃鉄穴溝から5cmの金仏が発見され、その記録板」を残し、神徳を讃え神社の交流を記念している。(写真参照)

令和元年度

総会のご案内

今年度の総会及び懇親会が、来る十一月九日土曜日正午より、会場は昨年同様、東京大手町サンケイプラザにおいて開催されることになりました。邑南町から日高輝和副町長にもご出席いただき予定です。毎年ご参加いただいています方も、久しぶりの方も、初めての方も、ご家族ご友人とぜひご参加下さい。懐かしい顔に逢えるかも。「元氣な顔を見せちゃんさい」ささやかですがお土産を用意しております。

何かとお忙しいかと存じますが、万障繰り合わせの上、お出かけ下さいませようご案内申し上げます。懐かしいお友達やお仲間「たまにゃあ、ちろちろて行こうみようや」と声を掛けて頂き、来ちゃんさい。

日時 11月9日(土) 正午
場所 東京大手町サンケイプラザ

千代田区大手町一七二二
 電話〇三二三七三二二二五八
 各線大手町A4 E1出口直結
 東京駅丸の内北口 徒歩七分
会費男性 九、〇〇〇円
女性 八、〇〇〇円
同伴者五、〇〇〇円

学生 三、〇〇〇円
 中学生以下無料
 当日会場にて申し受けます。準備の都合上、十月末日までに同封の返信はがきにて、出欠をご連絡下さいませよう宜しくお願いします。

故郷の米を買いちゃんさいよ

申込コース		内容(玄米重量)	料金
1年コース	1	毎月 10 kg ずつ×12 回	¥52,400
	2	毎月 5 kg ずつ×12 回	¥30,500
半年コース	3	毎月 10 kg ずつ×6 回	¥26,700
	4	毎月 5 kg ずつ×6 回	¥15,400
その都度コース	5	1度に20kg	¥8,100
	6	1度に15kg	¥6,500
	7	1度に10kg	¥4,600
	8	1度に5kg	¥2,700

25k 以上は重量郵便物となり割高です。隔月発送、7 分精米等ご希望に応じます。

今年も美味しいお米を食べて頂こうと故郷のお米をご紹介します。コシヒカリまたはキヌムスメです。お届けするお米は、冷温庫に玄米を保管され、その都度精米されています。玄米での発送や小分けも可能です。

従来は事務局で受け付けておりましたが、本年より直接、口羽までお越しる会にお問い合せ下さい。

六九六〇〇六三
 邑智郡邑南町下口羽四八〇一
 口羽までお越しる会 事務局小田博之
 ☎FAX 0855-87-0501
 eメール kuchihaproject@hant.jp
<http://kuchihaproject.main.jp/kuchiba/>

編集後記

今年も暑い夏が終わり、朝夕は涼しくさ感しられるようになりました。いかががお過ごしでしょうか。国の方は、連日隣国との関係悪化が報道されて騒がしいようです。

このところ毎年のように、数十年に一回、百年に一回のような大きな水害等自然災害が起きています。千葉県では先日の台風十五号の傷跡が今なお残り、停電が続いているところもあるようです。お見舞い申し上げますと共に一日も早い復旧をお祈りします。昨年引越しました千葉市緑区高津戸町、高い山はないものの、田園風景や森の木々が多いところですが、今回五日間の停電と断水を経験しました。今年社会人になりました息子にもいい経験になったことと思います。防災対策に早速、非常用としてポータブル電源を

購入しました。改めて電気の有難みを感じました。今回も相当な被害がありました。地震等の災害予想で、何兆円もの被害額が予想されていますが、どうせやるなら、災害が起った時に慌てやるとより、計画的に事前に防災対策をして欲しいものです。また八月の初めに久しぶりに車で帰郷しました。今回は広島岡山にも立ち寄り、天空の宿いこの村しまねに二泊。数年前にUターンされ、邑南町で活躍されている先輩と食事をさせて頂きました。すっかり溶け込んで、生き生きと活躍されている姿を見ましたら、Uターンもありかなと。ふるさと会には痛手でしたが、今号にも原稿をお送り頂いた皆様有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回も皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由。身近なことから、専門的なこと、その節には協力の程、どうぞ宜しくお願いします。十分注意しておりますが誤字脱字や、見づらいところもあらうかと思ひます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。いよいよ秋本番、もうすぐ紅葉の季節。時節柄どうぞご自愛下さい。

11月9日総会をお会いしましょう
 三宅良(二矢上下萩原梅吉屋三男)